

## まえがき

本書は平成2年度から2年にわたって実施した「東アラブの政治危機と社会変容」研究会の成果としてとりまとめたものである。研究会のねらいは、1970年代以降著しい政治・経済・社会変動を経験しつつある東アラブ地域の国々を対象として、それぞれの内的要因に焦点を当てながら、国家と社会が織りなす変動の構造を明らかにしようとするものであった。対象国・地域の歴史的・構造的な理解を重視するという考えから、研究会委員が取り上げる時期については、必ずしも1970年代以降に限定していない。

本書に収められた論文は、大まかに3つのまとまりをもって構成されている。まず、第1章と第2章とを第1部とする政治危機論についての考察がある。第1章長沢論文では、1967年の6日戦争での敗北を契機にアラブ世界で生じた知的雰囲気の変遷を扱い、アラブ諸国の政治的正統性の危機と思想的混迷の関係を論じている。その際、議論の射程は東アラブ地域にとどまらず、マグリブ（西アラブ）地域にまで広がりを見せ、さらに「世俗的」、「左派的」な思想傾向を帯びたアラブ知識人に論点を合わせている。

これに続く第2章の飯塚論文は、第1章では対象とされなかったイスラーム運動論を取り上げ、対象をエジプトに限定して1970年代以降イスラーム法の実施を要求するムスリム同胞団がどのようなイスラーム国家論に基づいて運動を展開したか、そして体制側はそれに対応したかを検討している。それを通じて、70年代以降のエジプトの政治危機の特質に迫っている。

総論的性格をもつ第1部のこれら2つの論文は、対象地域の広がりや限定性、および対象の思想傾向において補完的な関係をもっている。

次に、第3章から第5章までの第2部の諸論文は、エジプトおよびスーダンにおける地域・地方、そして中央・地方関係について歴史的考察を中心に論じたものである。まず、第3章の加藤論文は、エジプトの定期市の考

察を通じてエジプトの空間編成の類型化を試みたものである。根強く存続してきた従来のエジプト社会像としての中央集権的なイメージに修正を迫ろうというねらいがそこにはある。それは第4章の伊能論文にも共通しており、伝統的なエジプト国家論を中央と地方の関係の考察を通じて再考しようとしている。地方行政制度が中心にすえられているが、その議論の前提には、少なくともエジプトの場合、行政の視点を欠落させては、政治過程および政治変動の分析はもはや不十分であるとする考えが存在している。第5章の栗田論文も、以上の2論文と同様に地域の問題を扱っている。経済面でスーダンの最も重要な地域であるジャズィーラ地域で展開された農民運動の分析を通じて同国における社会運動を史的に位置づけようとするものである。

これら3つの論文の対象時期は、第1部の2論文よりも古いが、エジプトおよびスーダンの政治危機を論ずる際に見落すことのできない社会・経済変動のひとつの側面を分析したものである。

第3部の岡野内論文(第6章)は、対象を東アラブ地域外の湾岸アラブ諸国にすえて、GCC諸国における金融資本の戦略的な重要性に着目して金融機関の対外展開を分析し、それによってGCC諸国の国家構造の特質に迫ろうとするものである。最近の政治学における国家論の復興、さらに中東の産油国を主たる対象とする「レンティア国家」論の盛り上りを考慮すると、その試みはGCC諸国にとどまらず他のアラブ諸国の国家論と政治危機の考察にも有益な比較の視座を提示するものである。そうした意図から本来は研究会の対象外であった湾岸諸国について1章を当てることになった。

最後に、これまで日本では比較的手がつけられてこなかったアラブ諸国における社会変動と女性の関係について、補章の泉澤論文がエジプトの女性労働に限定して文献サーベイを行っている。これは、本研究会の最終年度にオブザーバーとして参加した泉澤職員に要請してまとめられたものであり、近くとりまとめられる予定のエジプト社会における女性に関する包括的な文献サーベイの一部をなしている。社会変動における女性の問題は、近年ますます注目される傾向にあり、泉澤論文は、今後本格的な研究を進める基本的な

資料としての性格をもつものと思われる。

以上、本書の構成について述べてきたが、いずれの論文も我が国の中東研究における新しい分野を開拓する試論的な性格をもっている。したがって、そのために多少荒削りな面は否定できないが、しかし挑戦的な試みである。

最後に、アラビア語の転写・表記について原則として International Journal of Middle East Studies の方式を採用したが、若干それを修正した部分がある。固有名詞のカナ表記については、できるだけ現地の発音に近い表記に努めた。また注のアラビア語の出版地表記は、カイロやバイルートなど英語表記が定着しているものについては英語で示し、その他の地名はアラビア語を転写した。

1993年1月

編 者